

(Lonely Night Gathering)

さみしい夜の句会報 第150号 (2023.12.31-2024.1.7)

- ◆ 参加者：温(ぬる)、石原とつき、何となく短歌、西沢葉火、靈夢、しまねこくん、輪井ゆう、水の眠り、古城エツ、syusyu、汐田大輝、涼、おかもとかも、西脇祥貴、海馬、石川聡、宮坂愛哲、しろとも、花野玖、元さん、crazylover、やは、まつりぺきん、りゅうせん、ダリア220、比島アルト、蔭一郎、佐竹紫田、春永睦月、saku守宮、月詠、せば、馬勝、凧ちひろ、うつわ、Tale、太代祐一、雷(らい)、かれん、鴨川ねぎ、岡村知昭、涼閑、睡密堂、片羽雲雀、ばさ、エミリー・メープル・ポーン、東ころ、Tatsuo Kanase、星野響、のはるん、もふもふ、ピッケたん、ヴたこ、だよ、ポッキー(山口絢子)、月硝子、風吹く、ぐりこ、塩本抄、心のポエム、まつもともとこ、亮、月波与生(六二名)

◆ 7・7、5・7・5 (川柳・俳句)

- 睡蓮の閉ちたる闇へ手を引かれ syusyu
無月なれば納屋に滑車の軋む音 syusyu
冬の朝重すぎて上がらぬ緞帳 星野響
イカ墨を塗られた顔で踏切へ 岡村知昭
国宝を着たり脱いだり試着室 太代祐一
寒稽古剛田ジャイ子の安全日 馬勝
正体がみかんのむきかたでばれる 蔭一郎
バイトリーダーを調律してほしい りゅうせん
見つめても見つめても眠れない部屋 やは
奥行のある臍内で寝る政治 やは
ハンバーグの肉汁に足りない王を足す 海馬
初夢を返す時にはこの箱へ しまねこくん
右頬の傷にキョネンと名をつける しろとも

*

ホノルルに涙あふるる 西沢葉火
七草に 能登の想ひ出 嘯み締める 靈夢
あなたのしつぽ咬みちぎったのあなた 輪井ゆう
双六の上がりて沼になる仕組み 汐田大輝
入浴で気付けば湯船今寝床 涼

よごさんす、よごさんすと言うししおどし おかもとかも
あなた をすべては発音しない中島みゆき 西脇祥貴

髪の毛が川になつて王女様 石川聡

度し難い押しかけ自称ボランティア 宮坂愛哲

季語季題季感満載初句会 花野玖

3連休リフレッシュするぞ！寝てばかり crazy lover

泣き止んで次は悩殺させるから まつりぺきん

病気仕事映画館廻り猿廻し ダリア 220

約束は果たせぬままで冬の月 佐竹紫田

前世にはおそろく夫よ石拾ふ 8080 守宮

振り向いてくれないって言われても知らんがな 月詠

木枯しの中やさみしき猫の声 せば

亡き父の小さき声は聞き取れず うつわ

問題の流れの果ての顔あらう 雷

野苺が今日の私を眠らせぬ かれん

目を瞑る明治生まれの電算機 鴨川ねぎ

冬空へカラスつぎつぎ発つ日暮れ 涼閑

吉日は嘘と証明されて夜 東こころ

元日やゼレンスキーの髭飾り Tatsuo Kanase

冬の朝重すぎて上がらぬ緞帳 星野響

初春やトイレで目覚め摘まみ食い もふもふ

*

猥である夢を食わないまま老いた 月波与生

◆ 5・7・5・7・7 (短歌)

孤独だと思った大晦日の夜にやがて失う家族と笑う 睡密堂

諦念をかたる我らの視座としてガザニアの咲くあたたかな
野辺 水の眠り

*

よりによって食虫植物を「ちよつと考えさせて」日だまり
石原とつき

今もまだ頑張ってるの夜更かしで仕事してるのアイコンに
問う 何となく短歌

風呂トイレどこに行っても猫がいる視界の端に私は暮らす
古城エツ

雨の中まだ見ぬ雪に瞳だけ次の季節を追いかけていた 元
さん

テレビジョンから流れる声と気うとい明るさに惰眠を貪り
比島アルト

あの時の怒りを攫って消え去った あなたのベッドに今夜
も眠る 春永睦月

さびしさとむなしさ氷にとじこめてペンダントにして壁に
かけとく 凧ちひろ

僕だつて人間なんだ感情が揺れる事など当然なのに [原]
薄味の雑煮の塩気涙さえまだあたたかい凍えない冬 片

羽雲雀

寒さ故昔寛ゆる杯にゆかしき人の笑みそ恋しき ばさ
セルリアン、痰青色や水浅葱 青海原は色味色々 エミリ

ー・メープル・ポーン
昇るなら天まで昇れ彩雲龍龍の背に乗り上昇気流 のはる
ん

ごうごうとエアコンの音が鳴る新年の朝これは令和のケ日
常のありがたさ ビッケたん

もぐりこむ冷たいシートあたくしは幽霊だからあなたを食
べる ヴたこ だよ

多様化という熱病をまだ知らぬ在所に届く遠寺の鐘 月硝
子

◆詩

命日の空を見上げて父想う

歳とってできた末っ子 愛されずひねくれ者のまんまと告
げてやる。(温(三))

◆作品評から

諦念をかたる我らの視座としてガザニアの咲くあたたかな

野辺 水の眠り

～水の眠りさん、薔薇をおめでとうございます(ボッ

キー(山口絢子)

～水の眠りさん、おめでとうございます(太字)

静かな諦めの中、でもガザニアは光に当たらないと咲かな
い花だった気がするので(違ってたらすみません)、この
先には希望も見出せそうで……とても素敵です(佐竹紫田)

～おめでとうございます！

視座とガザニアが重なるのも水の眠りさんらしくいい

ガザ地区も微かにみえてきそうだ(風吹く)

～水の眠りさん、おめでとうございます。

美しいとてもよい短歌だと思います。

特に下の句がいいです。いいです。(ぐりこ)

～薔薇おめでとうございます

このお題でこの下句はすごい……諦念を人と語り合うとき、

どこかガザニアの温かみある色を感じることがあります。
語り合う諦念は前向きな諦念なのかもしれません。とても
素敵な詩を読めて嬉しくなりました。(塩本抄)

風呂トイレどこに行っても猫がいる視界の端に私は暮らす

古城エッ

〜めつちや可愛いです(心のポエム)

バイトリーダーを調律してほしい りゆうせん

〜いい句ですね。同感(まつもとも)

摩天楼ロールシャツハのコピー機群 水の眠り

〜全体に喋りすぎだが「ロールシャツハのコピー機群」
には魅かれた。以前事務機器屋の倉庫に入ったとき、廃棄
となった朽ちたコピー機群を思い出した。(月波与生)

失禁の夢ばかり見るいつの日か現実になる序章のように
何となく短歌

〜まだ失禁の夢は見たことがないがトイレを探している
夢はみる。舞台はいつも上海。中国でトイレに苦労したこ
とがトラウマになっているのだ。(月波与生)

おっぱいに顔埋めたい年の暮れ 宮坂麥哲

〜願望を書いただけというふうにも読めるが、こういう
ことを堂々と書いても作品として受け止めてくれるのが川
柳の懐の深さだろう。願いが叶って顔を埋められたらう
か。(月波与生)

見解の相違さキルキュフェットル山 いずみ

〜キルキュフェットル山はアイスランドにあり見る方向
によってクレーターや流れ出た溶岩跡、氷河もあることか

ら、アイスランドの魅力を凝縮したような場所。(らしい)
(月波与生)

目を瞑る明治生まれの電算機 鴨川ねぎ
く物知り博学 足腰かくしやく(亮)